

# 夜間学校ニュース

1988年10月21日  
西成区萩之茶屋2-8-9  
旅路の里気付  
釜ヶ崎夜間学校

在日朝鮮人・韓国人・中国人の

指紋押なつ拒否断固支持!

定住外国人に市民権を!

## 仲間の死

本籍、住所不詳、住居西成区萩之茶屋1-1-20室、ホテルス階B-11号室、氏名自稱世安昭二、年齢58歳位の男、遺留金品現金295円、印鑑1個

右の者は、昭和60年5月13日午後5時ごろ萩之茶屋1-1-20室ホテルス階B-11号室にて発見されたもので、同日午後4時ごろ(推定)、同所において急性心不全のため死亡したものと思われる。

身柄引取り不明につき、津守斎場にて火葬に付した。

## ママ〜ダダがい

## せ〜りや

夜間学校ニュースが、官報に掲載された、無縁仏となつた仲間の死を連載して、もう、何人の仲間の死を紹介したことだろうか。

人の生命は地球より重いといふ言葉がある。ヒロヒト氏も無縁仏となつた仲間たちも、人であることにおいて、なんらかのところに

はない。

ただ、「社会的地位」なるものが、天皇と日雇、とり

う、ただそれだけの違いにしかすぎない。

釜の日雇は、自らの体を使つて稼ぎ、生きる。そして、病気や高齢で稼げなくなるこ、ひっそりと死ぬ。

路上で、ドヤで。

そのことは、みんな、先刻承知のことだろう。

死は、遅かれ早かれ、誰にでもおとずれるものだから。

ヒロヒト氏の死にフリー

ら。

自分の中に居る天皇を除く、去すことは、釜の解放の第一

だ。

みんなでつくろう

みんなの会館

三人よれば 何とかの 知恵

毎週金曜日  
夜七時より  
市民館三階

釜ヶ崎夜間学校

## 何故

## 天皇制にこだわるか

先月十九日深夜の吐血以来、天皇の病状をめぐって日本中がふりまわされています。夜間学校ではここ数回、ずっとこの問題を取り上げてきました。それは天皇の存在が戦争責任や日本人の人權、他の国の人々とのつながりを考える上で欠かすことのできない重要な問題を孕んでいると考えるからです。

「医者に聞いたけど、ああいうふうにならずと熱が出てて、栄養も満足にとつてなかったら、たいてい意識はモーロー状態になるらしいで」

「まあ点滴をうけてるから、断食しているのよりはましな状態とは言えるかもしれないな」

「いや神さんやねんから、意識がモーロー状態になるのは死んだ時だけちゃうかな」

「さっきの医者はああいう状態でものを言うたり、テレビを見たりするというのはちょっと信じられへんと言ってたけどな」

「それにしても、いろんなところであの自肅というのが影響しはじめてるで、テキヤをしてる人が食うていけんいうて首つって死んだしな」

「テキヤはホンマ、こまっとるで、正月用のしめかざりをぎょうさん仕入れたけ

ど、このままではどうしようもない、とか言う話をきいた」

「新聞でも自肅ムード批判とか報道の仕方、天皇の戦争責任とかについて、投書が出始めてるで」

「これも、中ぶらりんの状態が続いているからや、新聞の取り扱ひもずいぶん小さくなったな」

「反対に、まだ夜間学校は天皇のことやってるんか、ええかげんにせえという声も出てくるわけや」

「天皇を批判するから夜間学校はアカンという人もおるで」

「というのも天皇をどう考えるのかということは日本人にとって避けることのできん問題や」

「ふだんはな、天ちゃんとか言うてる人がいざとなったらコロッと変わってしまったうんや、これが一番怖い、まあこんな人が天皇制を支えているんやろな」

「横浜の中華街のお祭りが中止になっらしいけど、生野で三十日に予定されている生野民族祭りは予定通りするらしいけど、もしそれまでに天皇が死んでたらどういふことが起きるやろか、心配や」

「こういうところに日本人の戦争責任とか、過去の植民地支配をどう考えるのかという問題がはつきりと出てくるな」

「それは祭りだけと違うで、生きているから天皇についてもいろいろ言えるという面がある」

「死んだ人については仏様、いや神様になっただんやから、もう何も言うな、というのが大方の日本人の考えやし、特に釜ヶ崎の労働者にはそう思う人が多いんやちがうかな」

「越冬の時には死んだ仲間のためにということで、大きな力になるけど、こんどは逆の立場になるな」

「それにしても、バカバカしいこともあるで、例の『女性自身』の発売中止や」

「天皇の写真が逆になっていったというんやろ、それもよっぽど気をつけんとかわらんもんや」

「着物を着てて、左前になってしもてたんか」

「いや天皇は着物は着んで、八月の戦没者慰霊祭の時の写真が逆に現像されてんや。ボタンをよう見たらわかるらしいけど、こういうことで発売中止ということとはやっぱり不敬罪というのはまだ残っ

てるんやなとしみじみ思うわ」

「ところでいざとなつた時はどうなるんや」

「まずは皇太子が踐許いうてすぐ天皇になる儀式をやる、それから元号が変わらんや」

「葬式はどうなるんや」

「まず墓穴を掘り始めるからすぐにはやらへん、まず二ヶ月くらいはあとや」

「喪も長いんやろ」

「一応死んでから一年や。その間に皇后とか年寄りの皇族が死んだらまた伸びるで」

「喪が明けた、次の年の十一月に大嘗祭という儀式をやつて新天皇が正式の天皇になるわけや、即位の礼やな」

「今年中に死んだら、一九九〇年が大嘗祭ということになる。この年は紀元二千六百五〇年や」

「そうするとまた十万円金貨が発行されるわけか、ワシラには関係ないけど」

「それより大事なんは葬式・即位の時の警備や、サミットどころではないで、三〇数ヶ国の元首が来るわけや、警察だけでは手がまわらんというわけで、右翼やヤクザがのさばってくるで」

「まあ好き放題しよるやろな」

「費用も数百億円はかかるで」

「全部国民の血税や、死んだ人のことはどうもということ片づけられへん問題があるわけや」